



四 風

湯ノ本打ち上げ花火



勝本小学校



『笑顔輝く勝本っ子の育成』のため、寸劇による読書活動の推進・遊具等の整備・学習支援補助など、各部会が様々な活動を行っています。



瀬戸小学校は、学校・保護者・地域の方々が一体となって様々な活動を行っています。春の大運動会では、子ども達や保護者・地域の方々と一緒に芦辺音頭を踊ります。6月には、農協青年部の方々と一緒に田植えを行い、秋に収穫した米をつき、会食をするなど、体験を通して学んでいます。

さらに学年ごとに、パンづくりや球技大会など、学年に応じたレクリエーションも行っています。行事や活動を通して成長する子ども達を、学校・家庭・地域が一体となって支えています。優しく元気な明るい日本一のあいさつができる瀬戸っ子になれるよう見守っています。



瀬戸小学校



【目次】

- P1・・・表紙／PTA活動紹介
- P2・・・研修部・母親部研修会
- P3・・・県Pスローガン・盈科2年前研修会
- P4・・・壱岐市PTA連合会単P役員研修会
- P5・・・単P役員研修会アンケート結果
- P6・・・PTA活動紹介／編集後記

No. 37 2021. 09. 21

発行：壱岐市PTA連合会

構成：広報部

住所：芦辺町中野郷西触362番地

電話：0920-45-3713

E-mail：iki1625pta@gmail.com

第1回

研修部会（5月25日）

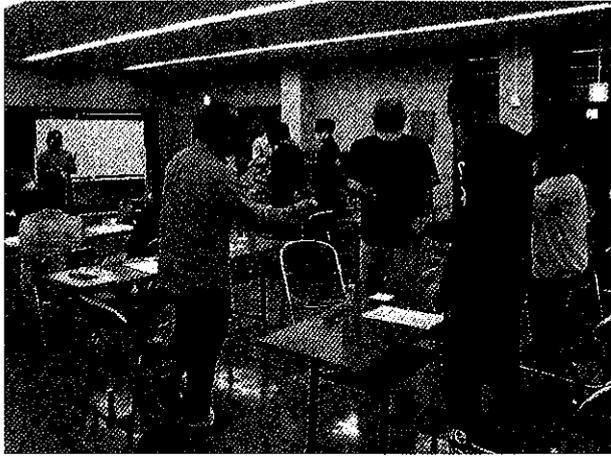
母親部会（5月28日）

開催場所 那賀地区公民館

両部会で活動テーマは

『性教育』に決定

5月13日に予定されていましたが、単P役員研修会が、新型コロナウイルス感染症予防の影響で中止となり、両部会が本年度初めての本部活動となりました。開催日、出席者は異なりますが、両部会でほぼ同じ活動内容でしたので、以下にまとめます。



吉田会長、各部長による開会あいさつの後、ながさきファミリープログラムファシリテーターの松嶋純子さん（市P連事務局長）の進行で、活動テーマ選定が行われました。初顔合わせの部員同士、固かった雰囲気、ジャンケンゲームで和んだあとは、四人グループになり、自己紹介が行われました。

活動テーマについては、役員より提案のあった『性教育』を取りあげるといふことで、出席部員でその内容を承認しました。

ブレインストーミング（集団討議）の手法で、「①性教育のイメージ」、「②どんなことを知りたいか」を、それぞれが付箋に書き込みました。10分弱の短時間ではありましたが、ホワイトボードにはたくさんの方々が張り付けられました。

10月の研修会では、市内勤務の助産師による性教育の講話が予定されています。付箋に書かれた内容は、その際の講話内容の検討に活用されるということです。

性教育については、中学・小学・男・女でそれぞれ考えが異なる難しいテーマだと思いますが、『これまでになかったテーマで活動したい』と

の意気込みで選定されました。難しいテーマではありますが、本日の会議の雰囲気から、今年度の研修・母親部活動が活発に推進されるであろうと感じられました。



（役員紹介）

研修部 部長 倉本浩文

母親部 部長 長島有美

（箱崎小学校）

（渡良小学校）

<過去の研修・講演内容>		
実施年度	研修部	母親部
令和2年度	子どもとメディアの正しい付き合い方と親のかかわり	笑顔づくりのコミュニケーション
令和元年度	親子のコミュニケーションについて	（合同開催）
平成30年度	子どもをとりまくメディアの世界 ～今何がおこっているのか～	（合同開催）

令和3年度 長崎県PTA連合会スローガン

「つながり合い、分かち合い、寄り添い合うPTA」

～家庭・学校・地域が協働し、子どもたちの健全育成に努めよう～

長崎県PTA連合会総会

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に伴い、令和3年6月5日(土)に開催を予定していましたが定期総会は書面により決議を取られ、すべて原案どおり可決承認されました。

《令和3年度運営方針》

子どもたちのみならず、社会全体を取り巻くあらゆる環境の著しい変化に伴い、家庭、学校、社会が戸惑いながら日々の生活を過ごしています。このような時こそ、家庭、学校、社会がより一層つながり合い、連携、協働に努め、寄り添い合いながら子どもの健全育成に取り組まなければなりません。

長崎県PTA連合会は、各郡市町PTA連合会や会員の相互の融和を図り、一丸となって本県教育の環境整備に取り組み、研修事業を通して会員自らの人間力と家庭教育力や社会教育力を高め、大人の姿を通して夢や目標を持つことのできる、人間性豊かでたくましい子どもを育成します。

(以上、総会資料抜粋)

盈科小PTA2年前研修会

8月4日(水)那賀地区公民館で壱岐市PTA連合会(市P連)から6名、盈科小学校PTAから7名の参加による盈科小PTA2年前研修会が開催されました。本研修会は、令和5年度の県P研究大会の発表校である盈科小学校PTAが、どのように研究を進めていくのかについて、市P連と情報を共有し、壱岐市PTAとしてよりよい発表をするための準備の場となっています。

始めに、吉田会長から「発表校とすることで、昨年からのいろいろと計画を進めていただきありがとうございます。市P連としては、できる限り協力をしていこうと思っています。」と激励の挨拶がありました。

続いて、盈科小学校の松永PTA会長からは、「学級懇談等のPTA活動に参加することで『見えるつながり』を、コロナ禍で集まれないときは、全家庭が同じ目標に向かい、同じ方向を向いて取り組むことで『見えないつながり』を築き、『盈科小みんなのでつながる』ことを目指し、今後は具体的に取り組んでいきます。」

と力強く説明がありました。
コロナ禍にあつて、これまで通りのPTA活動さえ十分に出来ないところがある中、盈科小学校PTAは、『つながり』を研究テーマの柱に据え、2年後に向けてすでに動き出されています。

<研究テーマ>

“プロジェクトE”で伸ばそう子ども、増やそう笑顔

見えるつながり 見えないつながり みんなでつながろう

取組1：学力	取組2：体力	取組3：心力
勉強(家庭学習)	運動 基本的な生活習慣	やさしさ・言葉遣い・挨拶等、コミュニケーション能力

沓岐市PTA連合会 単P役員研修会

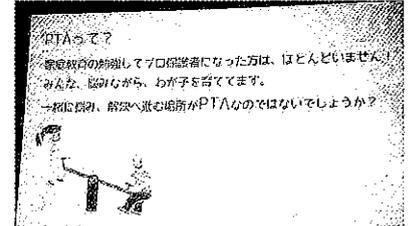
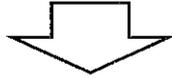
「〇〇〇のためのPTA」

～ 子どもの健全育成のために、保護者が学べるPTA活動

PTAに求められるもの、求められるリーダー像 ～

○ PTAとは… という課題でディスカッションを行いました。

- ・PTAって何？ ・役員になったけど何をすればいい？ ・会費（予算）の使い方がわからない。
- ・コロナ禍の中でPTA活動をどう進めるべきか？
- ・会議を円滑に進める方法や次年度会長の選出と育成方法がわからない。



『一緒に悩み、解決へ進む場所』がPTAなのではないだろうか？

『決して強制するものではない共有し分かち合う場所』でもある。

⇒ 今回の演題である「〇〇のためのPTA」の〇〇の部分は皆さんで考えてください。

○ 子どものいじめについて

徳島大学の先生の話で、子どものいじめについての紹介がありました。（割合は全国）

（親） 自分の子どもがいじめを受けているのでは？と心配している保護者 … 約6割

自分の子どもがいじめているのでは？と心配している保護者 …… 約3割

（小学5年生） いじめられたことがある … 3割（いじめの内容は様々）

いじめたことがある …… 7割（実際にしているかではなく心理的気持ちとして）

☆子どもの思う「いじめ」の定義と、親の思う「いじめ」の定義は全く違う。

（最大の理由） 子どもは傍観者もいじめている（いじめに加担している）と思っている。

そのためには…

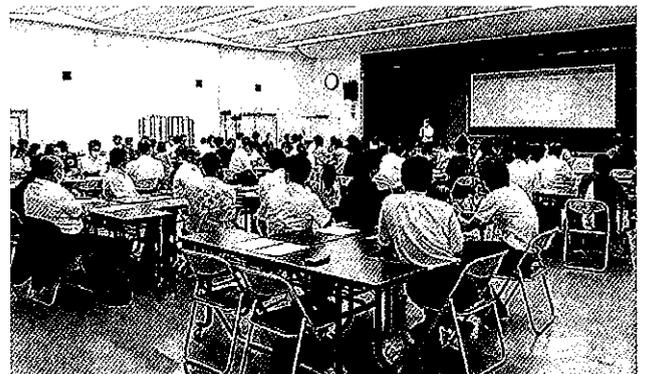
★子どもの心理を聞くためには会話が必要。

親が思っていることと、子どもが思っていることが違うことを受け止めていただきたい。

・いじめはなくなると思う親9割

いじめはなくなると思っている教師9割

⇒ 先生たちは、いじめが本当になくなると信じて教育にあたっている。



先生と親の気持ちの乖離がある。

お互いの意見を言いコミュニケーションを図ることで考えがわかる。

☆講師の紹介 …… 長崎県PTA連合会会長 山本道雄さん

諫早市で設計事務所を営みながら、平成30年より県PTA連合会会長を務められています。

昨年5月にコロナ禍の子どもたちや飲食店への協力を目的に、地元企業等から協賛金を募り

『こどもべんとう』を立ち上げ、売上金等を医療従事者へ寄付する取り組みを行っておられます。





PTA活動紹介



八幡小学校

よく気づき・よく学び・よく実践する子“八幡っ子”

八幡小学校では、児童と保護者、そして地域の方と一緒に毎年6月に八幡けねやねクリーン作戦という海岸清掃をしています。その目的は、地域の貴重な自然に触れたり、環境保全活動に携わる方々の姿に触れたりすることで、地域の自然の豊かさを感じるとともに、その自然を守り続けようとする態度を育て、八幡への所属感を深めることです。午前中にクリーン作戦を行い、午後はPTA主催での海体験を行います。今年度は、6月18日に実施予定でしたが、生憎の天候でクリーン作戦は6月25日に実施しました。午後からの海体験は活動内容を変更し、全学年でイカ曳きを行いました。地域の漁師さんが捕って、いけすに入れてくださったイカを、大はしゃぎで釣りあげました。イカスミ攻撃には大盛り上がりでした。



クリーン作戦



海体験

勝本中学校

～豊かな心と向上心を持ち、夢に向かって主体的に生きる生徒の育成～

本校では毎年7月に、辰ノ島清掃作業を行っています（本年は荒天により中止）。

夏場の海水浴でピークを迎える観光客に、きれいなビーチを楽しむいただくために、また、生徒への地元資源とその魅力の認識、地域愛の創出を目的に活動しています。コロナ禍前のピーク時には、観光船利用者が、2万3千人を超え、辰ノ島は島内有数の観光資源になっています。

校内活動としては、施設委員会を中心に花壇の整備『花いっぱい運動』を行っており、校内美化に努めています。



【編集後記】

今年度も新型コロナウイルスの影響で、行事・イベントが中止や延期となる新年度の始まりとなりました。前期の発行は勝本町と芦辺町が担当し、コロナ禍でも各学校が工夫して活動する様子や市PTAの研修活動等をお伝えしました。本紙で得た情報等をPTA活動や御家庭でも活用していただければ幸いです。最後に御協力いただきました皆様、ありがとうございました。 広報部一同